

II 雛受入前準備

鶏舎水洗・消毒

雛の受け入れ準備作業は、5ページの「農場飼養管理 作業進行行程表」により行います。
ここでの、具体的な、注意点は以下のとおりです。

1 機材等の搬出

出荷時には、すべての鶏を鶏舎から搬出します。出荷できない鶏なども同時に出して舎内に残さないようにします。

ふんや埃の中に入った細菌やウイルスはなかなか死滅しないため、清浄な鶏舎環境を早期に確保するためにも、鶏舎内の器具器材や、鶏ふんはできるだけ早く搬出してください。

2 清掃

水洗を効率的に行うには清掃が大切です。

床にこびり付いたふんは削り取り、天井や壁及びブルーダーなどに積もった埃も落とします。また、鶏舎の周囲や側溝等も清掃します。

3 水洗

消毒液は、鶏ふん等の有機物が混ざると殺菌能力が低下することから、水洗は重要な初期鶏舎洗浄工程です。

汚れを効率よく除去するには、水洗前に舎内や床を水で湿らせたり洗浄液を散布したりして、乾いてこびり付いた鶏ふんなどの洗い流しがスムーズに出来るように工夫します。

頑固な汚れは、ブラシ等で擦るのが一番です。

埃についても、換気扇や、埃の溜まりやすい配電盤の上、棚や給餌・給水パイプの上等を丁寧に水洗します。

水洗作業は、高圧の洗浄機を用い、舎内の上から順番に（天井、壁、床面の順）行います。

4 消毒

清浄な環境の鶏舎に、清浄な雛を入れることが、良い生産成績を得る第一歩です。消毒の具体的な方法は、7ページの「鶏舎消毒方法」を参照して下さい。

なお、一般的な注意事項は、以下のとおりです。

- (1) 消毒は、舎内を乾燥させてから行います。
- (2) 適切な薬液濃度を確保するため、薬液は計量カップで測ります。
- (3) 床面には生石灰を塗布、鶏舎周囲には消石灰を散布します。

生活クラブ向け農場飼養管理 作業進行行程表

日令	作業名	作業内容	使用剤名	目的	使用基準範囲	実施者
-16	除糞	鶏ふん搬出				作業班(委託)
-15						作業班(委託)又は飼育者
-14	水洗	動噴で鶏舎内外洗浄				飼育者
-13	乾燥	鶏舎の乾燥				飼育者
-12	消毒	1回目消毒	ロゲル	殺菌	500～1000倍 鶏舎全面、器具類	飼育者
-11	乾燥	鶏舎の乾燥				飼育者
-10	消毒	2回目消毒	外ペーブル	殺虫	30～100倍 床面、側壁、器具類	飼育者
-9	乾燥	鶏舎の乾燥				飼育者
-8	消毒	3回目消毒(状況に応じて)		殺菌	500～1000倍 鶏舎全面、器具類	飼育者
-7	乾燥	鶏舎の乾燥				飼育者
-6	石灰散布	石灰塗布	生石灰	殺菌	0.5kg / 坪 量を床面塗布	飼育者
-5	石灰塗布	石灰散布	消石灰	殺菌	1 kg / 坪 量を農場敷地散布	飼育者
-3	ワクチン接種	卵内ワクチン接種	MDFP:IBD各ワクチン	疾病予防	各0.5ℓ-ス / 羽	孵化場
-3	導入準備	導入準備全般				飼育者
-2						
-1	準備最終確認	準備最終確認				飼育者
0	雛発生	選別、ワクチン接種、輸送準備	IBワクチン	疾病予防	0.5ℓ-ス / 羽	孵化場
	雛輸送	雛輸送				孵化場
	雛導入	雛導入、餌付け				飼育者
3	ワクチン投与	CE剤投与	CE剤	ウイルス排除	1 ℓ-ス / 羽 4h～6h 飲水投与	飼育者
5	ワクチン投与	コグジュ-ムワクチン	コグジュ-ムワクチン	疾病予防	0.5 ℓ-ス / 羽 4～6h 飼料添加	飼育者
7	ワクチン投与	ニューカーストワクチン投与	NDワクチン	疾病予防	1 ℓ-ス / 羽 2h 飲水投与	飼育者
14						
21	ワクチン投与	ニューカーストワクチン投与	NDワクチン	疾病予防	1 ℓ-ス / 羽 2h 飲水投与	飼育者
28						
35						
42						
49						
56						
60～	出荷	出荷準備				飼育者
		捕鳥、生鳥輸送				作業班(委託)
		農場在庫確認、報告				飼育者

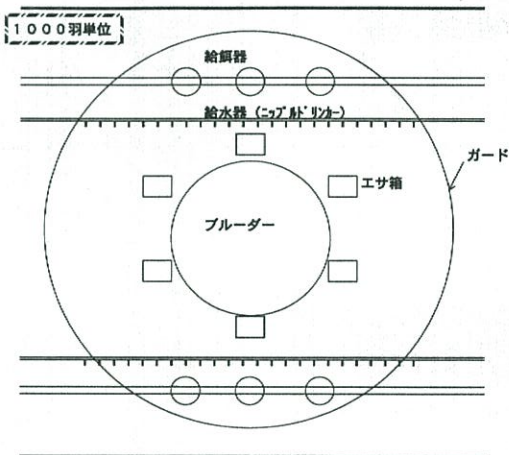
敷き料



敷き料は、原則使いません。

ただし、入雛時には、ブルーダーの下、及び飼料や水を飲むエリアに、保温と吸湿のために紙を敷きます。

チックガード



チックガードの設置は、
左図のように丸くしたり、下写真のように波打たせたり、
まっすぐにしたりと様々あります。



鶏舎消毒方法

鶏舎水洗い後、次の手順で鶏舎消毒して下さい。

1. 水洗い作業が終了したら鶏舎を乾燥させて下さい。(1～2日)
2. 鶏舎が乾燥したら1回目の消毒を行います。

(1回目の消毒方法)

ロンテクトを使用して、鶏舎全体(給餌器・飲水器・チックガード・その他小物を含む)を動力噴霧機にて行います。

(100坪当たり400ℓ～500ℓの消毒溶液を使用します。)

希釈倍率500倍で使用しますので、

- (1) 水 400ℓ で ロンテクト 0.8ℓ
- (2) 水 500ℓ で ロンテクト 1.0ℓ
- (3) 水 1000ℓ で ロンテクト 2.0ℓ

3. 1回目の消毒後、鶏舎を乾燥させて下さい。(1～2日)
4. 鶏舎が乾燥したら、2回目の消毒を行います。

(2回目の消毒方法)

タナベゾールを使用して、床と、床から50cmほどの側壁と、チックガードを動力噴霧機にて行います。

(100坪当たり200ℓ～300ℓの消毒溶液を使用します。)

希釈倍率100倍で使用しますので、

- (1) 水 200ℓ で タナベゾール 2ℓ
- (2) 水 300ℓ で タナベゾール 3ℓ
- (3) 水 1,000ℓ で タナベゾール 10ℓ

5. 乾燥後、導入準備を行って下さい。